

学校教育目標

挑戦し 高め合う子

校長から豊浜っ子の皆さんへ

2学期始業式の話 R2. 8. 26

21日間の夏休み、どうでしたか。1学期の終業式に2つのお願いをしました。

- お願い その1 <自分の命を大切にしてください。>
- お願い その2 <自分の健康を大切にしてください。>



今回も放送で始業式を行いました。

みなさんがこうやって元気にこの場所にいられるのは、2つのお願いをしっかりと守ってくれたからですね。お願いを守ってくれてありがとう。皆さんの努力に心から感謝します。

さて、今日から2学期。今日から9月18日までの月のめあては

「さわやかあいさつを心がけよう」です。

みなさん、今日の朝のあいさつを振り返ってみましょう。
あいさつには3つのレベルがあります。

- レベル1 相手より先にあいさつ をする。
- レベル2 相手より先にあいさつ + 元気な声であいさつ をする。
- レベル3 相手より先にあいさつ + 元気な声であいさつ + 笑顔であいさつ をする。

では皆さんに聞いてみましょう。

- 今日の朝、レベル1のあいさつができた人。
- 次に、レベル2のあいさつができた人。
- 最後に、レベル3のあいさつができた人。



一つでも手を挙げられた人は素晴らしいですね。月のめあて「さわやかあいさつを心がけよう」を達成するためには、レベル3のあいさつができてほしいのです。豊浜っ子の皆さん、今日からレベル3のあいさつができるようにがんばりましょうね。そしてさわやかなあいさつができた友達には「今日のあいさつは、レベル3だったね。あいさつされてうれしかったよ。」「〇〇君、さわやかなあいさつ、ありがとう。元気が出たよ。」と伝えてあげましょう。

この豊浜小学校が、さわやかあいさついっぱい素敵な学校になるように、みんなで力を合わせて取り組みましょう。先生たちも、皆さんに負けないようにさわやかあいさつを心がけます。これでお話を終わります。

< 2学期も感染症対策に取り組みます >

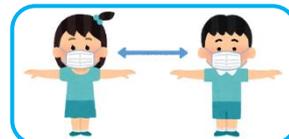
手洗い



マスク



両手間隔



< 1 学期学校生活アンケートより >

児童と職員を対象に、1 学期の学校生活をふりかえるアンケートを実施しました。その結果から見てきた課題について、職員で話し合い2 学期の指導について考えました。

課題 1

「自分の考えや思いを、相手に分かりやすく伝える。」ことが苦手な児童が多い。

<原因として考えられるのは…>

豊浜小の子どもたちは、幼少期からずっと一緒に生活し、互いの長所も短所も理解し合っているため、あえて言葉に表さなくても通じ合う場面が多いのではないのでしょうか。見方を変えようと、自分の気持ちを言葉にして伝える機会が少ないとも考えられます。

<そこで…>

対話活動を充実していきます。

新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、朝活動等の時間を使ってテーマに沿って話したり聞いたりする「対話活動」を行います。

「好きな食べ物」「私のおすすめの〇〇」などのテーマを決め、それについてペアで受け答えをするなど、対話を通して表現に慣れること、相手に伝わる声の大きさや話す速さ等を工夫することを目的に取り組んでいきます。また、話を聞く姿勢についても指導をしていきます。

課題 2

「場に合った言葉遣い」が苦手な児童が多い。



<原因として考えられるのは…>

豊浜地区は三世代・四世代同居の家庭が多く、子どもたちは家族や地域の方々に見守られて安心して生活を送ることができています。家族以外の大人と会話する機会も多く、とても人懐っこい印象の子が多いです。飾らない素直さが豊浜っ子の魅力です。

一方で、あらたまった場であいさつをしたり話をしたりすることにはあまり慣れていないため、緊張すると言葉が出てこなかったり単語だけで受け答えをしたりする姿も見られます。豊浜小の子に限らず、現代では家の電話に出て受け答えをする機会もほとんどないので、あらたまった話し方とはどのようなものかを知る場面がないことも原因だと思われます。

<そこで…>

以下について重点的に指導していきます。

- 授業中は、丁寧な言葉遣いで、最後まではっきりと話す。
- 職員室へ出入りするときは、しっかりとあいさつをしたり要件を伝えたりする。
- 何かを頼んだり、連絡事項を伝えたりするときは、丁寧な言葉遣いで話す。

「授業」「職員室」は公の場であるという意識を持たせ、具体的に言葉遣いを指導していきます。また、言葉遣いを使い分けたり礼儀正しくしたりする理由について、道徳や学活等の授業で、子どもたちと一緒に考えていきます。